

「人の感動に、貪欲。」をコンセプトに、さまざまな企業のイベントプロデュースを行うBackbone社のプロジェクトの裏側をお伝えする「BACKBONEDetails」。第6回目となる今回からは、格闘技イベントの企画・運営・主催を手がけるRIZIN事務局（株式会社ドリームファクトリーワールドワイド）をお迎えし、2023年から2024年にかけてBackbone社がお手伝いさせていただいたイベントおよび記者会見について、全4回に分けて振り返っていきます。1本目となる本記事では、2023年12月に3日間開催された「U-NEXT presents 雷祭り」の裏側をご紹介します。



1年間の活動の総決算となる 大規模イベント

本件は、メイン会場であるアリーナと隣接するコミュニティアリーナをサブ会場として使用した、フェスティバル形式の大規模イベントでした。あらためて振り返ってみていかがですか？

RIZIN われわれが企画した各種コンテンツをどのように具体化していくのか、Backbone社さんと一緒に考えていくことができました。本イベントは、我々の1年間の活動の総決算として毎年大晦日に開催しているものですが、この規模にしてはかなりタイトなスケジュールな上、進行中の追加や変更も度々生じていたため、ご迷惑をおかけした場面もあったと思います。

今回 Backbone社としては、イベント全体の進行管理および、メインとサブの2種類のステージ環境の造作を担当させていただきました。タイトなスケジュールのなかで、どれだけ早く、正確に準備できるかはもちろん、RIZIN事務局のみなさんやその先にいるエンドユーザーの方々を感動させるためにはなにができるかを考えながら取り組みました。

RIZIN 毎年開催しているイベントとして、ある程度の雛形や全体の構想はあるんですが、お客様に満足いただくためにはコンテンツを更新していく必



要があります。今年も恒例のコンテンツに加えて、新しい試みを取り入れたかったため、最終判断がギリギリになつてしまい、内容やスケジュールを組み直さなければならなかったことがたくさんありました。そういった状況でもとにかくやり遂げていただけたのがありがたかったですね。

イベントのクオリティを上げるための議論を重ねられていたからこそだと思うので、なんとかご要望を実現するために尽力させていただきました。

2万人の来場者が行き交う 各種コンテンツの管理を徹底

ステージの造作をはじめとする会場環境のしつらえや、控え室の動線、セキュリティの整備など、イベントをつくり上げる際に考えなくてはいけないことは他の仕事とは大きく変わりませんが、今回は来場者数が2万人規模のとても大きいイベントなので、その点の配慮は必要でした。

RIZIN 通常のイベントはひとつの会場内ですべてのコンテンツが完結しますが、お客様がメインとサブの会場を行ったり来たりするような、かなりの人の動きがあるイベントですからね。メインコンテンツに加え、3日間を通してサブコンテンツもかなりの数があったので、確認しなくてはならないこと



がたくさんありましたが、最終的にはトラブルが生じることなくとてもうまくいったと思っています。

イベントに出演する数十組のアイドルや芸人、アーティストの方々の管理はもちろん、コンテンツごとにチェックリストをつくり、抜け漏れがないように管理を徹底しました。もちろん、僕ひとりですべての進行管理を行うのではなく、協力会社の方々と制作進行を分担したうえで、全体管理をBackbone社が担当しました。

お客様を喜ばせるエンターテインメントをつくり上げるために

Backbone社は「人の感動に、貪欲。」というコンセプトを掲げているので、RIZIN事務局のみなさんが観客の方々が感動できるイベントにするために貪欲に取り組んでいる姿に共感を抱きました。

RIZIN ステージのバックボードや各種造作物など、納期があるものの進行をBackbone社にリードしていただいたおかげで、ギリギリまでコンテンツを検討することができました。僕らとしても、これだけの規模のイベントでお客様を喜ばせるエンターテインメントをつくり上げるためには、最後の最後まで検討を重ねる必要がありました。本来だったら間に合わないようなスケジュールでも粘り強く対応していただき、無事に実現していただきありがたかったですね。

イベントのプロデュースにおいては、来場される方々だけではなく、事務局を務めるクライアントの方々の満足度も同じく大事だと考えているので、そう言っていただけでよかったです。

RIZIN Backbone社さんが掲げている「人の感動に、貪欲。」というコンセプトは、僕らの考え方とも共通するところがあると思っています。われわれもいかにお客様を驚かせて感動されるのかを意識しながら仕事に取り組んでいるので、Backbone社さんの仕事にかける心意気や取り組む姿勢に共感しますし、みなさんの仕事ぶりに僕らも感動させてもらいました。

今回は、今回紹介した「U-NEXT presents 雷祭り」のメイン開場で行われた「じゃんこ大戦争 presents RIZIN45」の開催に向けて実施した記者会見のプロデュースの裏側を振り返ります。